

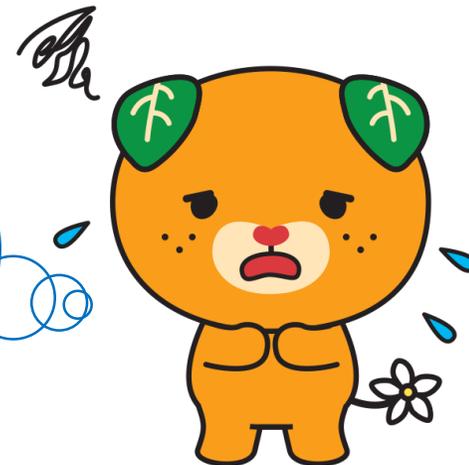
複式学級のスムーズなスタートに向けて

1・2年生複式学級 年度当初のポイント

1・2年学級担任の困り感

「先生」「先生」と声を
掛けられ、間接指導が
うまくいかない……。

1年生に手が
掛かってしまう……。



そこで

新年度のスタート・学期の
スタートに仕組みづくりを！

1 間接指導の工夫

2 複式のよさを生かした単元構成・授業展開の工夫

3 2年生の育ちを含めたスタートカリキュラムの作成と活用

1 間接指導の工夫

間接指導の学習を自分たちで進めるには、手立てが必要です。

【手立て1】

学習の基本となるルールを徹底する。

ルールづくりのポイント

特に、1年生のスタート時は、無理のないシンプルなルールにしましょう。

また、「なぜルールが必要か」、「ルールを守るとどんないいことがあるのか」を子供たち自身が考えたり、実感したりする経験が積み重ねられるようにしましょう！

発達の段階に応じたルール

必要性やよさが感じられるルール

「自分でできる」自信につながるルール

学習のルール例

【「じぶんで」べんきょうタイム】(個人での学習)

先生が別の学年のところにいるときには、自分の席でじっくり考えましょう。

困ったときは、自分で考えて、それから友達に相談しましょう。

【「みんなで」べんきょうタイム】(学年での学習)

今日のガイド役の友達の話をよく聞いて、学習を進めましょう。

その場に合った声の大きさを話しましょう。

どうしても分からなかったら、次に進んで大丈夫！



後で先生といっしょにできるからね！

1 間接指導の工夫

【手立て2】
学習の手順を視覚的に捉えられるようにしておく。

学習の進め方(例)

学年の発達の段階に合った
学習の進め方を工夫しましょう。



1年生は、
このプリントは
自分で楽しんで
取り組みそう・・・
2年生は 前にも
理由を紹介し合った経験が
あるから・・・

1年生

- ① **じぶんで**
プリント（5ぶん）
- ② **みんな**で
おんどく（〇ページ～〇ページ）
・ 一ぶんずつ
- ③ **おわったら**
タブレットでかんじれんしゅう

プリントができたよ。
次は何をするのかな？
黒板を見てみよう。



次は③ばんの紹介！
今日、ガイド役として
進行するのは、
ぼくだよ。



2年生

- ① **みんな**で
音読（〇ページ～〇ページ）
・ やくわり読み
- ② **じぶんで**
気に入ったところに線をひく。
- ③ **みんな**で
線をひいたところをしようかい
りゆうもはっぴようする。
- ④ **おわったら**
読書

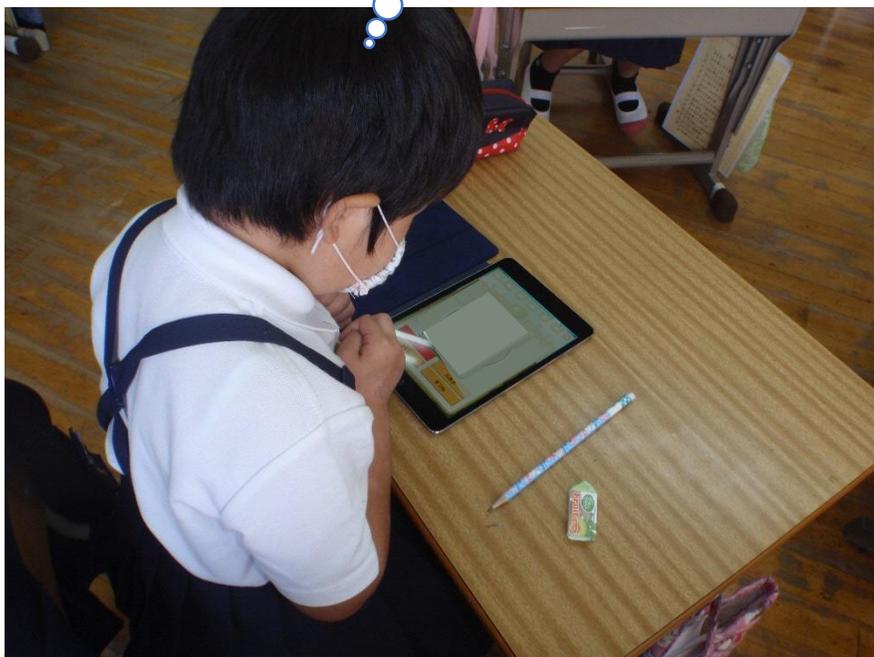
1 間接指導の工夫

【手立て3】

課題が早く終わった時にどうするかを決めておく。

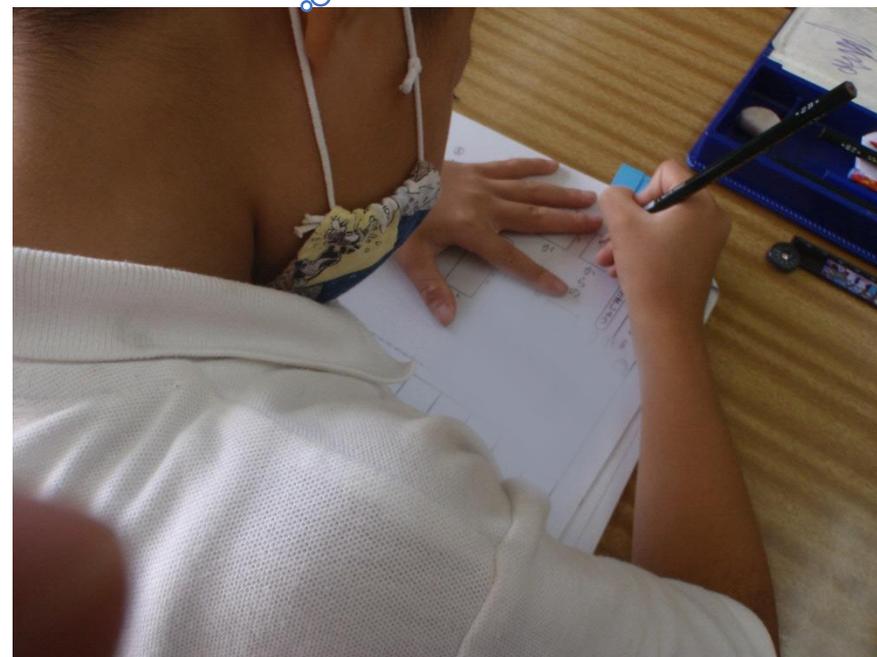
活動例

どんどんチャレンジしよう！



ICT機器の活用

今度は、合格するぞ！



読書やドリル・プリントの活用



1 間接指導の工夫

【手立て4】
座席の配置を工夫する。

学習活動に応じた座席配置にします。
幾つか基本的なパターンを決めておくと、子供たちも迷わずに、自分たちで座席を移動することができます。

座席配置例

個人で進める学習



漢字テストやドリル学習等の時は、落ち着いて取り組めるように、全員が前向き(同じ向き)になります。直接指導の際も、黒板が見やすく、教師の話が聞きやすい配置です。

学年で進める学習



対面式の座席配置だと、顔を見合わせて、相談することができます。

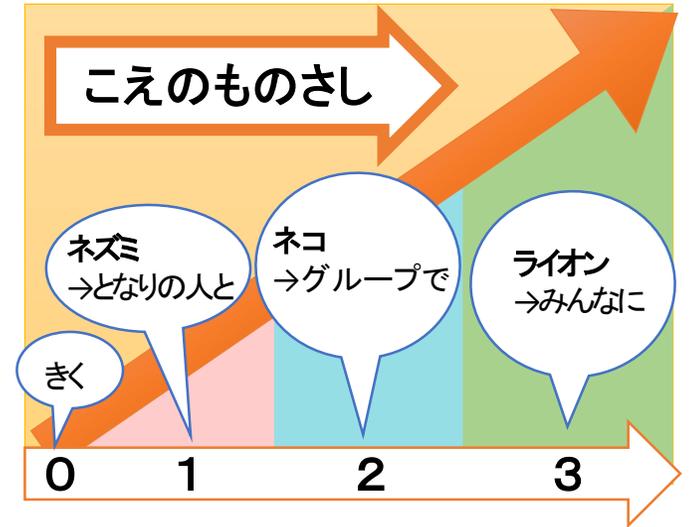
1 間接指導の工夫

【手立て5】

学年で学習を進める(グループ学習する)時の声の大きさを確認しておく。

声のものさし(例)

- みんなで(1・2学年)一緒に学習する時
→ **ライオンの大きさ**
- 学年が分かれて学習を進める時
→ **ネコの大きさ**
- 一人で音読したり隣同士で相談したりする時
→ **ネズミの大きさ**



声の大きさを確認することで...

→ もう一方の学年の声が気になりにくく、互いの学習に集中しやすくなります。

声の大きさを調節することで、どちらの学年にとっても、心地よい学習環境につながることを感じさせていきたいですね。

1 間接指導の工夫

【手立て6】

中心となって進行するガイド役を決めておくなど、自分たちで学習に取り組む場をつくる。

直前の直接指導の際に、課題が何で、どのように学習を進めるかについて確認することが大切です。

自分たちで学習を進めていく中で、意見が分かれるなど、解決が難しいところについては、後で教師とともに、再度解決に向けて考えていくことも習慣にするとよいですね。

自分たちで進める学習の例

その日の日直を学習のガイド役として、黒板に掲示した「学習の進め方」に従って、自分たちで学習を進める。

(国語科「お手紙」の学習)

ガイド役:「気に入ったところに線が引けましたか。」

A児・B児:「はい、引けました。」

ガイド役:「紹介してください。」

A児:「私は ○ページの『とてもいいお手紙だ』
のところが気に入りました。」

ガイド役:「理由を言ってください。」

A児:「理由は……………」

* * * * *

ガイド役:「質問や意見はありませんか。」



1 間接指導の工夫

1・2年複式学級スタート時のポイント

ルールや指示は少なめに、
簡単なことからスモールステップで始める

自分(自分たち)で学習を進める姿を
しっかりと見取る

機会を捉えてよいところを褒め、
達成感や次への意欲につなげる

特に、どの子供もガイド役を繰り返し経験できるようにするなど、自分たちで学習を進める場を積極的に取り入れることで、1年の間に子供だけでできることがどんどん増えていきます。

2年生のスタート時には、この経験を生かす場をつくることで、1年生への丁寧な指導の時間も生み出せます。

また、2年生の姿が1年生のよいモデルとなります。

すごいね！
自分たちで進められたね！

みんなの意見を
まとめることができたね！

たくさんの考え方を
見つけたね！

2 複式のよさを生かした単元構成・授業展開の工夫

① 同時期に、同じ領域の学習を行う。〈類似内容指導〉

学習例



例1 国語科1年生「おおきなかぶ」と2年生「スイミー」の単元を組み合わせせて…

→「音読練習をして、音読発表会をしよう。」

例2 国語科1年生「じどう車ずかんをつくろう」と2年生「おもちゃの作り方を説明しよう」の単元を組み合わせせて…

→「自動車図鑑とおもちゃの説明書を作って、紹介し合おう。」

○ 共通の目標にしたり、活動の流れを同じにしたりすることができる。

2 複式のよさを生かした単元構成・授業展開の工夫

② 学習の成果を異学年に披露する場を設定する。

学習例



例1 算数科1年生「ひきざん(1)」の単元の「おはなしづくり」から…
→「計算の絵本を作って、2年生にお話をしよう。」

例2 国語科2年生「お話のさくしゃになろう」の単元から…
→「お話を考えて絵本を作り、1年生に読み聞かせをしよう。」

- 相手意識をもって、学習を進めることができる。
- 1年生にとっては予習、2年生にとっては復習になる。

2 複式のよさを生かした単元構成・授業展開の工夫

1・2年複式学級スタート時のポイント

単元構成・授業展開の工夫

共通の目標や同じ活動の流れにしたり、授業の終末を2学年で行ったりすることにより、直接指導の時間の確保につなげる。

どちらの学年も細やかに指導ができる。
子供にとっても、混乱が少ない。

そのためには、事前に2学年の教材研究をしっかりと行うことが大切です。

これまでの実践例等もヒントにしながら、よい組合せや授業展開を探していきます。

相手意識をもつと、モチベーションのアップにつながる単元はどれかな？

伝え合う時間をつくって表現力の育成にも力を入れたいな

学級全体で取り組むことで、どの子供も安心感をもって学習してほしいな

3 2年生の育ちも含めたスタートカリキュラムの作成と活用

平成30年3月 国立教育政策研究所
「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム
スタートカリキュラム導入・実践の手引き」より

スタートカリキュラムの作成

- 1 幼児期の発達や学びを理解する
- 2 期待する児童の姿を共有する
- 3 各学校のスタートカリキュラムをデザインする
 - (1) 単元の構成と配列
 - (2) 週の計画と時間配分

【スタートカリキュラムを構成する活動の類型】

一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした活動(安心をつくる時間)

合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動

教科等を中心とした学習活動

1年生だけでなく、2年生の学習活動も考慮したスタートカリキュラムを作成していく必要があります。

3 2年生の育ちも含めたスタートカリキュラムの作成と活用

1・2年複式学級スタート時のポイント

- 生活科を中心に、各教科等において、無理なく2学年で学習を進められるカリキュラムを考える。
- 1年生と2年生の関わりや、活動の違いについても、留意点を確認する。

どの先生が1・2年複式学級を担当しても、子供たちの年度当初の学校生活が無理なくスタートできるよう、単元構成や学習活動、時間配分等を工夫し、週案等の形で具体的に計画を立てます。

1年生だけでなく2年生にとっても、メンバーが新しくなった複式学級での学校生活に慣れる期間が必要です。ゆとりのある中で活動に取り組めるよう、長期的な視点で計画を立てましょう。

朝の活動	学年	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
読書 1年生用に簡単な絵本を用意しておく。様々なジャンルの本を数多く用意し、個の興味・関心に応じて読書が楽しめる環境をつくる。	1年	学活 きもちのよいせいかつ・みんななかよし	道徳 ようこそ1ねんせい 1年間の行事などを2年生に紹介してもらいながら、学校生活を楽しもうとする気持ちを持たせる。	児童会 集団登校の場所や時間について確認する。 2年生が1年生を見守る場所まで連れていくようにして、安心感を持たせる。	図工 おひさまにここに 2年生の様子を見ることができる座席配置にすることで、1年生が見通しを持って活動できるようにする。	
	2年	挨拶や返事の仕方、ロッカーや机の中の整理整頓などを2年生に教えてもらう。 2年生は、1年生に教えることで気持ちよく生活するために大切なことを確認する。				国語 じゅんばんにならばう 1年生が下校準備をする時間に、2年生が給食準備をする。
読書 計算練習 既習の計算を練習する。	1年	学活0.5 行事0.5 身体測定	生活 がっこうだいすき（学校探検） 1年：学校の中の施設や人に関心を持ち、学校の様子に気付く。 2年：1年生を案内し、上級生としての役割が増えたことを実感する。		図工 おひさまにここに	
	2年	自分の発育や健康状態に関心を持つ。 2年生が手本となるように、2年生から実施する。				算数 ひょうとグラフ 子どもの実態や活動に応じて、2時間続きの学習をするなど、時間配分を工夫する。
読書 漢字練習 既習の漢字を練習する。 2年生が学習する姿が1年生のお手本となっていることを2年生に伝え朝学習への意欲を高める。	1年	生活 1年生：前日の学校探検で、もっと詳しく知りたい場所を探検し、発見カードに絵を描く。 2年生：1年生を探検場所へ案内し、1年生が知りたいことに答える。	体育 ゆうぐあそび きまりを守り、安全にみんなで仲よく遊ぶ。	音楽 みんなで歌おう 曲に合わせて体を動かしたり知っている歌を歌ったりする。	書写 じをかくしせい 姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、字を書く。	
	2年			楽しい雰囲気の中で体を動かしながら、体育科や音楽科の学習を進めていく上での基本的なきまりを学べるようにする。		国語 ふきのとう 1年生へのお手本を見せながら、2年生も正しい鉛筆の持ち方、正しい姿勢について確認する。